

自分たちのお酒造りプロジェクト 農作業マニュアル



美味しいお酒を飲むために！

当プロジェクトは、自分たちで美味しいお酒を造ることを目的に、地域みなさんのご理解と農家さんの指導、協力により活動をしています。地域のルールを守り、安全第一で楽しい農作業をこころがけましょう！

【連絡先】

自分たちのお酒造りプロジェクト実行委員会
tenntyou@kitora.com

田んぼでの注意点

① 田んぼについて

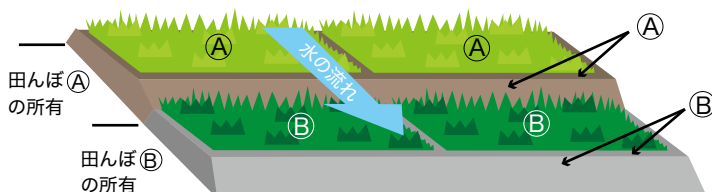
- ▶ ルールを守り、周囲の農家さんの作業の邪魔をしないようにしましょう。また、すすんであいさつをするなど友好的なお付き合いを心がけましょう。
- ▶ 田んぼには、人工的なものを絶対に残していかないでください。

【例】 ビニールひも・ビニール袋（スーパーの袋など）
ビン・カン・ペットボトル など

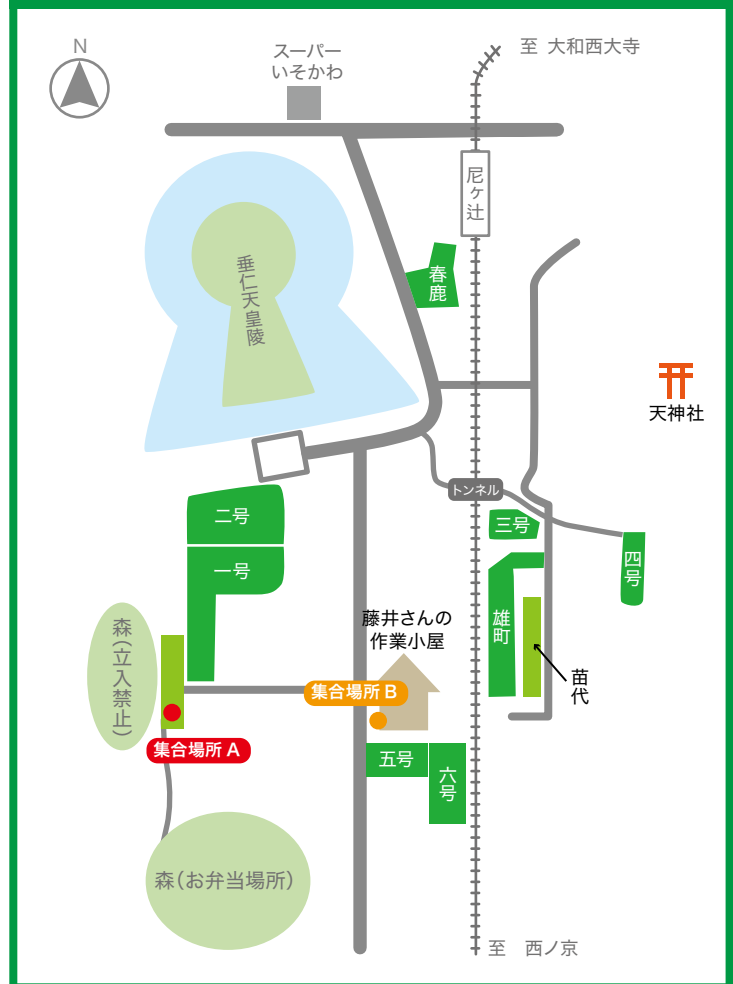


もし見つけたら必ず拾ってくださいね。
ゴミは持ち帰りましょう！

- ▶ 田んぼのまわりのエリアには約束ことがあります。
田んぼは、上から下へと水がスムーズに流れるよう作られており、上の田んぼ ① のあぜ道からその土手（茶色部分）は、①の田んぼの所有となります。
ですので、下の田んぼ ② で抜いた雑草などは、①のあぜ道や土手には置かないよう気をつけてください。



田んぼ MAP



② 作業について

- ▶ 各種農機具は使い方を誤ると大きな事故や怪我につながります。農家さんの指導のもと、細心の注意を払って作業をしてください。また、お子さんの参加があるときは、周囲の大人が十分に気配りをしましょう。
- ▶ 安全第一で、絶対に無理をしないでください。
- ▶ 農作業は思いの外過酷です。約 1～1.5 時間ほどで全体休憩を取りますが、それ以外にも各自の判断で適宜、休憩を取ってください。
- ▶ 水分補給は大切です。特に暑い時期の作業は、熱中症に注意して各自こまめに水分補給をしましょう。

③ その他

- ▶ 藤井さんの作業小屋周辺は、地域の方の生活道路です。通行の邪魔にならないよう、小屋前道路に大勢で長時間たむろすることはやめましょう。
駐車は厳禁です。
自転車は決められた場所に整列してとめてください。
- ▶ 危険ですので、田んぼへの移動の際に、踏切のない線路は絶対に横断しないでください。



地域の方々も興味を持ってくださっているプロジェクトです。
ルールを守り、お互いが気持ちよく居られるように心がけましょう！

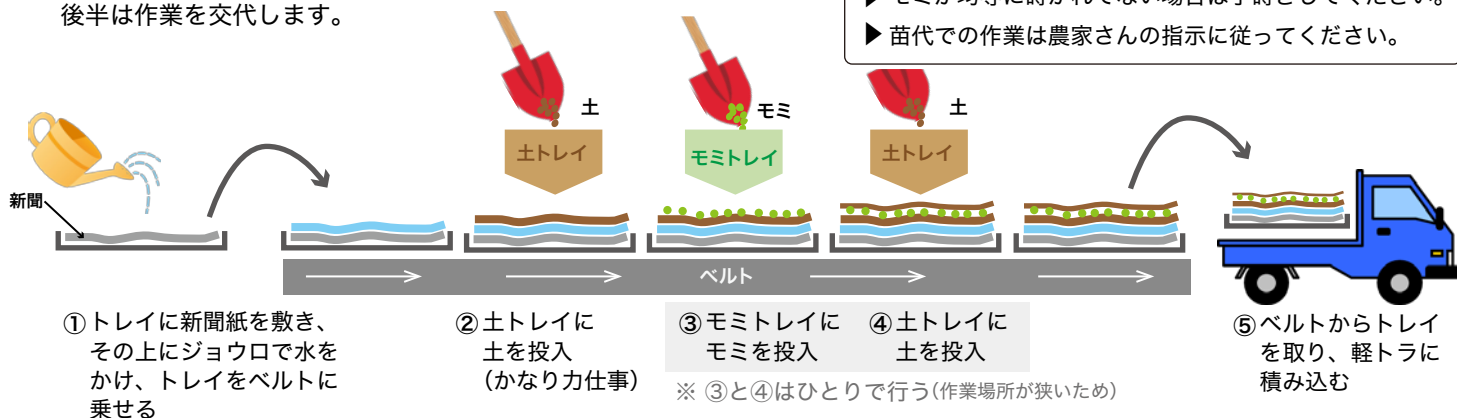
1 モミ蒔き・苗代づくり

5月上旬

集合場所 B

参加者を A 班、B 班に分け、前半は A 班が機械を使った作業（※下図）を、B 班が苗代での作業を行います。後半は作業を交代します。

- ▶ プレートは慎重に扱ってください。
- ▶ モミが均等に蒔かれてない場合は手蒔きしてください。
- ▶ 苗代での作業は農家さんの指示に従ってください。

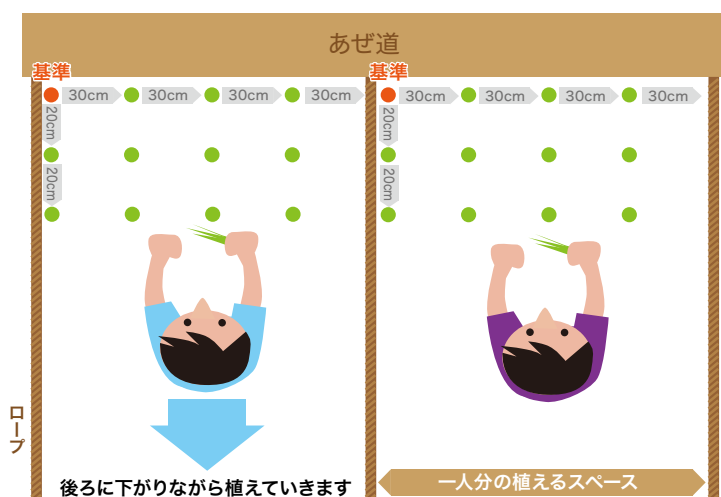


2 田植え

6月上旬

集合場所 A

あらかじめ、田んぼには 1.2m ごとにロープが張っており、その間が一人分の植えるスペースになります。あぜ道に向かって左端を起点に、横一列に 4 束植えます。（4 条植）



- ▶ ひとつの苗の束は、1～3 株です。株は少ないほど良く、たくさんの株をまとめて植えると育ちが悪くなります。苗は縦に裂くように分けてください。
- ▶ 土に挿す時の深さは、指の第一～第二関節ぐらいです。その後、苗が浮いてこないよう軽く土を押さえてください。
- ▶ 苗を挿した穴が大きくなった場合は、軽く土を寄せてください。
- ▶ 植える際に、足跡などで凹んだ所があれば、手で均し平らにしてから植えてください。

3 雑草引き・草刈り

7月中旬

集合場所 A

稲に養分が集中するよう、田んぼの雑草を抜き、あぜ道の草を刈ります。田んぼ内の雑草は手で抜きます。あぜ道は草刈り機を使って刈ります。

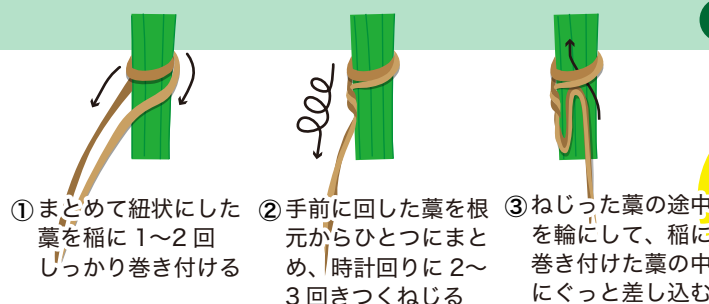
- ▶ 抜いた雑草の置き場所に注意してください。置く場所がない場合は、手に持っておいてください。※「田んぼでの注意点 ① 田んぼについて」参照
- ▶ 草刈り機を使用している側は、小石などをはねる事があるので、充分に注意をして作業をしましょう。

4 稲くくり

9月上旬

集合場所 A

酒米は背が高いため、台風で倒れないよう、時期を見ながら 3～4 株の稲をまとめて藁で縛ります。成長を妨げないよう、膝の位置ぐらいで右図を参考にして縛ってください。



※きとらさんの YouTube 動画に「稲のくくり方」があるので参考にしてください。



※図は分かりやすく横から見たところですが、自分の正面でねじるとやりやすいです。

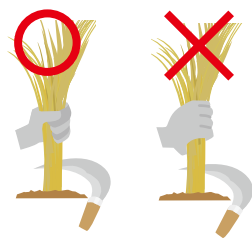
<稲刈り>

機械（バインダー）での刈り取りと、手刈り（鎌）のエリアはロープで区別されています。機械刈りのエリアは危険ですので、担当した人以外は立ち入らないよう注意してください。

手刈りの場合、基本的に2人1組で作業をします。ひとりが刈り取り、もうひとりが刈り取った稲を束ねて縛ります。適宜交代します。ただ、縛るのにはかなりの力が必要になるので、非力な方や子どもさんは刈り取りをおこなってください。協力して進めていきましょう。



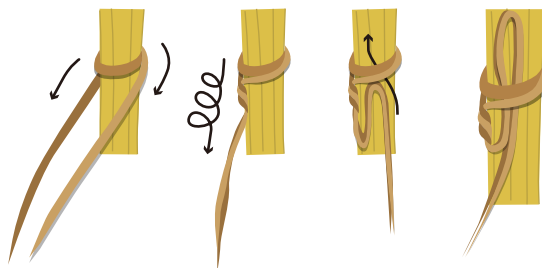
- ▶ 左手に稲の株を親指が上になるように握り、右手に持った鎌で株の根元を切ります。（右利きの場合）



- ▶ 刈った稲はどの束もだいたい同じ太さになるよう4束程度を目安にまとめ、一旦自分の後ろに置きます。次に同様に刈り取り、最初に置いた株とクロスするように置きます。

※左図参照

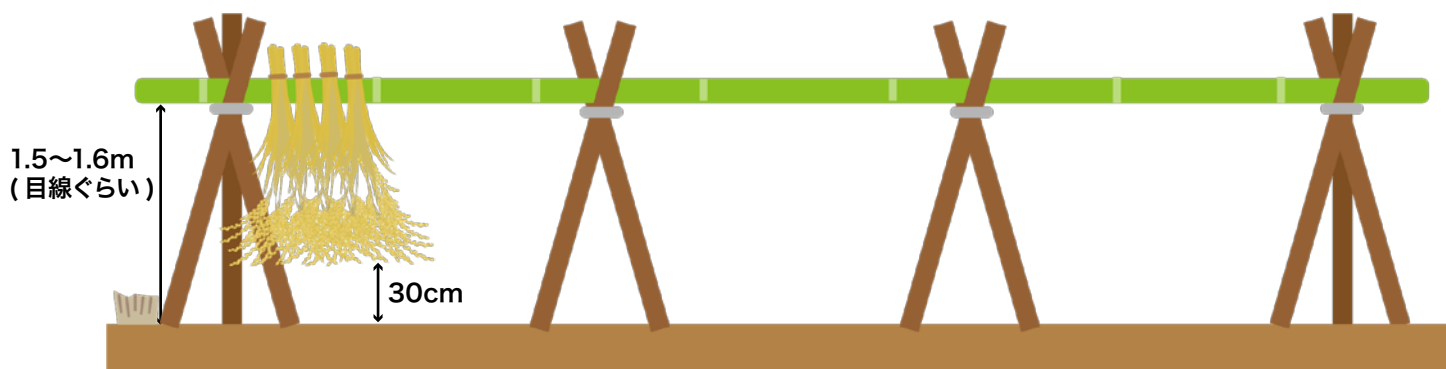
- ▶ 縛る人は、8株を目安にクロスした状態でまとめて縛ります。はざ掛けをすると乾燥して、ゆるくなっていくので、なるべくきつく縛ってください。縛り方は稲くくりと同じです。



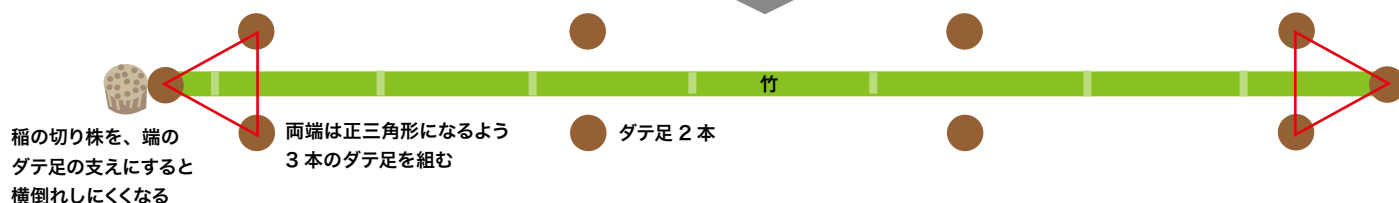
鎌は各自持参していただきますが、怪我などのないよう取り扱いには充分注意してください。もし怪我をされた場合は、すみやかに救護班に申し出て応急処置を受けてください。

<はざ掛け>

手の空いた人で手分けして、はざのための竹とダテ足を保管場所から持ってきます。稲刈りの終わった田んぼにはざを組み立て、縛った稲を端から掛けていきます。



上から見たところ



農家さんのコンバインを使い、12～14人を一組として脱穀作業を行います。それ以外の人は、はざを解体し保管場所まで運びます。

平等に作業を割り振ることはできませんので、適宜交代しながら助け合って作業をしましょう。

最後はみんなで落穂を拾います。

- ▶ 脱穀は危険な作業が多くなるので、お子さんの参加はご遠慮ください。
- ▶ 作業中は、埃が舞います。マスク、帽子は必携です。
- ▶ 苦労して育てたお米です。落穂は踏まないよう注意しましょう。



Memo

※ ここに掲載した作業は基本原則です。その時々状況に応じて、無理なく楽しく作業をしましょう。